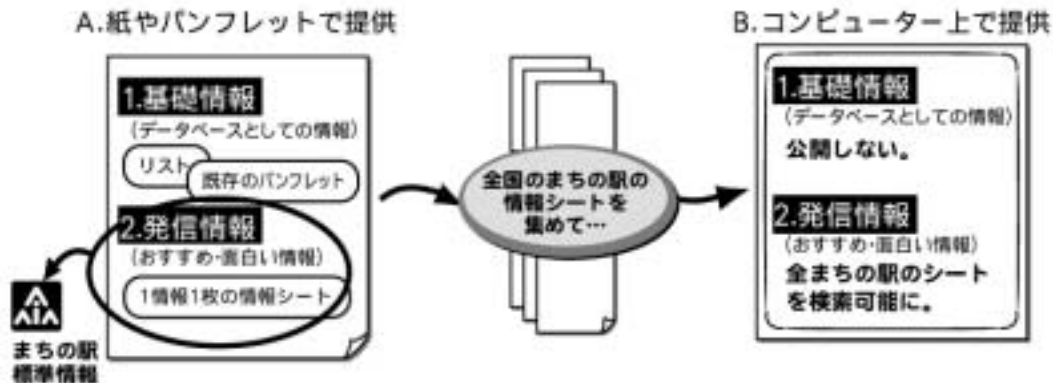


* 標準情報作成・情報提供マニュアル

まちの駅標準情報とは

整理・提供する情報の種類は、聞かれた時に対応するための内部で持つておく1.基礎情報と、おすすめとして情報シートを作成する2.発信情報に分けられます。この情報が、「まちの駅」の標準情報になります。また、各「まちの駅」の情報シートを、どこでも見られるしくみとして、コンピュータ上での検索システムを構築中です。



標準情報の考え方

よくある質問はどのまちの駅でも用意する。

「まちの駅標準情報」は、来訪者等からの質問回数の多い情報を整理し、統一した項目に沿って発信するものです。その「よくたずねられる質問項目」を10項目に統一整理し、その内容や提供方法を標準化することで、どの「まちの駅」にいても、同じくらいのレベルの情報が得られるしくみです。

まちならではの情報(ここだけ情報)を発信する。

また、各「まちの駅」を特徴づける個性的な情報、アピールできるものとしてそのまちならではの情報も加えて、標準化された情報との対比により、生き活きとした情報発信が行えます。

伝えたい情報を効果的に発信する。

一番「教えたい」・「知りたい」情報を、その情報ひとつにつき用紙一枚にまとめ、簡単な引き出しやラックに整理して情報を発信することが重要なポイントです。

行政・民間を問わず標準情報を提供する。

行政・民間版どちらの「まちの駅」にも、必ず、標準情報を置くことが重要です。

行政・民間を問わず標準情報を提供する。

公共施設等では、民間の店舗や企業の情報は置きにくいということがあります。しかし、「まちの駅」が地域の諸活動に貢献していくために、それらの情報を発信していけるしくみづくりも必要です。

標準情報の提供、共通の項目に整理することの必要性

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| ・ 知りたい情報をすぐ得られるしくみ
(提供方法の簡略化) | 案内人の負担減, 一定水準のサービスの確保, 情報収集・印刷等の諸費減 |
| ・ まちの駅どうしの相互協力 | 広域的なPR・マスコミ効果 |
| ・ 情報収集・発信のしくみづくり | 市民・団体・民間からの情報提供による地域の活性化 |
| ・ 伝えたい情報(ここだけ情報)の発信 | まちの魅力増 |

まちの駅標準情報の統一項目について

「まちの駅」の標準情報は、以下の10項目に分類します。これは、原則的に全タイプの「まちの駅」で（A.まちづくりタイプ、B.テーマ重視タイプ、C.特殊タイプ）共通の項目とします。

太字下線の項目については、どのタイプのまちの駅でも必ず用意してください。

太字の項目については、タイプ毎に異なりますが、原則として用意する情報とします。

上記以外の項目については、すべて揃うのが望ましいですが徐々に整理していく方向で構いません。

また、テーマ重視や特殊タイプの場合、情報の項目に自分たちのテーマをキーワードとして加えて用意してください。（例えば、「アートの駅」なら、Q4.おすすめのモノ情報は、アートをテーマにしたおすすめのモノ情報となります。 詳細参照：Page4 テーマ重視タイプの情報項目の例）

タイプ 運営主体	A.まちづくりタイプ	B.テーマ重視 / C.特殊タイプ
官・公共	<u>Q1.テーマ情報</u> Q2.歴史情報 <u>Q3.地図情報</u> Q4.おすすめのモノ情報 Q5.おすすめのスポット情報 Q6.イベント情報 Q7.子ども情報 Q8.ひと情報 <u>Q9.ここだけ情報</u> Q10.つながり情報	Q1.テーマ情報 Q2.歴史情報 <u>Q3.地図情報</u> Q4.おすすめのモノ情報 Q5.おすすめのスポット情報 Q6.イベント情報 Q7.子ども情報 Q8.ひと情報 <u>Q9.ここだけ情報</u> Q10.つながり情報
民	Q1.テーマ情報 Q2.歴史情報 <u>Q3.地図情報</u> Q4.おすすめのモノ情報 Q5.おすすめのスポット情報 Q6.イベント情報 Q7.子ども情報 Q8.ひと情報 <u>Q9.ここだけ情報</u> Q10.つながり情報	Q1.テーマ情報 Q2.歴史情報 <u>Q3.地図情報</u> Q4.おすすめのモノ情報 Q5.おすすめのスポット情報 Q6.イベント情報 Q7.子ども情報 Q8.ひと情報 <u>Q9.ここだけ情報</u> Q10.つながり情報

まちの駅標準情報の項目設定について

多種多様なまちの駅の情報を、同じ項目で整理するため、どうしても内容のレベルの差が生じます。そのため、まちの駅の標準情報の項目は、大きな括りのものとなっています。

例えば、図書館の十進分類は以下のようになっています。

- 000 総記 General works ...(図書館、図書、百科辞典、一般論文集、逐次刊行物、団体、ジャーナリズム、叢書)
- 100 哲学 Philosophy ...(哲学、心理学、倫理学、宗教)
- 200 歴史 History ...(歴史、伝記、地理)
- 300 社会科学 Social Sciences ...(政治、法律、経済、統計、社会、教育、風俗習慣、国防)
- 400 自然科学 Natural Sciences ...(数学、理学、医学)
- 500 技術 Technology ...(工学、工業、家政学)
- 600 産業 Industry ...(農林水産業、商業、運輸、通信)
- 700 芸術 The Arts ...(美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸、娯楽)
- 800 言語 Language
- 900 文学 Literature

「700 芸術」の分類の中には、美術、音楽、芸術、スポーツ、諸芸、娯楽などが含まれます。これと同じように、まちの駅の標準情報の分け方も、ひとつの項目の中に様々な要素が含まれているということです。例えば、Q4.おすすめのモノ情報には、食べ物や特産品だけでなく、生き物や日用品など、手に取ることができるモノならなんでも含まれるということになります。

項目毎の内容、作成・提供の留意点

Q1.テーマ情報

項目の内容：まちの駅の基本テーマ(コンセプト)、駅名称の由来など。そのまちの駅が一番大事にしていること。テーマに即したその都度のイベントの紹介、テーマに即して新たにやってみたい活動、提案など。

留意点：そのまちで、いちばん伝えたい内容でもあるので、A4版の情報シートとしてまとめる以外に、多くの人の目に触れるよう、拡大し掲示しておく。

Q2.歴史情報

項目の内容：そのまち(もしくは施設の)歴史・成り立ち等の紹介。地域の人でも意外に知らない郷土史やむかし話等を加えてもよい。

留意点：成り立ちから今までを紹介してもよいし、そのまちや施設にとっての特徴的な時代の紹介も可。

Q3.地図情報

項目の内容：大きな地図を1枚、「まちの駅」コーナーに貼る。周辺の市町村も入る広域的な地図のこと。(必要に応じ、各種地図を配備。最寄りの警察、救急指定病院等の場所も明示しておく)

留意点：掲示以外で手渡しできる地図は、既存のパンフレット・地図での対応で十分。まちの総合観光パンフレットや名所等の散策マップ、複数市町村で作成した地図等、用途や性質ごとに整理して置く。今後、まちの駅で掲示する地図は、ベースマップを統一する方向。

Q4.おすすめのモノ情報

項目の内容：まちの「これぞ」という特産品の紹介を始め、お勧めの素材、料理、食事処などの観光情報的なものから、手に取れる・見ることのできる「モノ」までの紹介。

留意点：どこで手に入るか、誰がつくっているか等の紹介も加える。紹介するものは、一番売れているものだけでなく、名称が変わっていたり、稀少価値が高かったりといったものも、まちの特性を伝える効果を発揮する。リストアップして多くの(店等の)情報を入れる方法もあるが、作り方や由来等の紹介をする方法もある。

Q5.おすすめスポット情報

項目の内容：個性や味わいや特徴のある「場所」の紹介。お店や宿の情報から、景色のよい場所や穴場等。

留意点：行政の場合、お店や宿など、紹介しにくいときは、観光協会等から転載の形で可。または、第三者組織で推薦してもらう方法もある。その場所の魅力が特に何であるかをキャッチフレーズ等でアピールする。また、施設等の場合、そこで何が見られるか(できるか)以外に入場・入館料等の情報も必要。お勧めのスポットやその時期等をそれぞれ紹介する方法もあるが、まち全体のおすすめコース等を紹介する方法もある。

Q6.イベント情報

項目の内容：まちの行事や祭、訪れた人も参加できるイベント等の紹介。直近の行事、春夏秋冬行事、定期的開催される市の情報等。

留意点：祭やイベントの由来やその様子のわかる写真等のほか、「実はこんな楽しみも…」というような紹介の仕方も面白い

Q7.子ども情報

項目の内容：総合学習の導入を踏まえ、生き物とのふれあい・水辺遊び・陶芸・キャンプ等、子どもたちが様々な体験できる施設・場所を紹介。オープン型の学校等の紹介も面白い。

留意点：実際に参加・体験できるもので、メニューや料金、講師、申込み先等を紹介。子どもだけでなく、大人も楽しめる体験の情報等も可。体験の情報以外にも、クイズ形式で、まちの自然等について紹介している例もある。

Q8.ひと情報

項目の内容：名人・達人・名人、活動リーダーなどの紹介。まちの話しが聞けたり、現地を案内・誘導してくれる人。テーマ重視のまちの駅では、そのテーマの専門家や関係者を紹介することもできる。

留意点：その人は何をしているかということだけでなく、(もし会えるとしたら)いつどこで会えるか、どんな話しがきけるか等も紹介する。行動に結びつくような情報を提供する。但し、紹介方法には気をつけ、例えば都合のよい日にちや時間等を、まちの駅で把握し、案内人が紹介するかたちをとるのが望ましい。

Q9.ここだけ情報

項目の内容：そのまち・その施設にしかないような、「ここならではの情報」。意気込みが伝わるような情報。わがまち日本一情報、オリジナルの取り組みの情報等。自由に発信してよい。

留意点：Q1のテーマ情報とも連動して、一番の「売り」を紹介する。「今これが熱い!」「今これに力を入れてます」というような旬の情報を発信してもよい。会報や月刊紙のような形態で提供する方法もある。

Q10.つながり情報

項目の内容：そのまち・その施設が、周辺の地域や施設と連携・協力している情報を提供。協力してイベントをやっているとか、観光ルートをつくっているとか。テーマ重視タイプなら、自分の施設のもつテーマのつながりでもよいし、異なったテーマのまちの駅と連携してこんな面白い取り組みをしている等の紹介でもよい。

留意点：「まちの駅」の要はネットワーク。ひとつの地域やテーマにこだわることなく、つながり情報を提供する。また、コミュニティーの中の諸施設との連携という視点でまとめてもよい。

共通規格のパンフレット

情報が集まったら、その内容を選びすぐり、共通規格のパンフレットにまとめると、他の駅との情報交換が容易です。

A3版6ツ折りサイズが統一規格ですが、紙面に制限があることから、いくつもある情報(シート)の中から、これぞというもの、もしくはそれらをうまくまとめてひとつにして、規定の枠内で自由に表現します。

ただし、たくさんの情報を入れ込みたいときはA2版使用等も考えられますが、その場合でも折りあがりは、A3版6ツ折りサイズに統一します。

とっておきの10種類の情報を選びすものなので、そのまちやまちの駅のことで分かります。

周辺や関連のまちの駅のパンフレットを置いておけば、まちの駅どうし、簡単に紹介できます。

